



東京工業大学情報理工学院サポーターズ制度は、

高度情報理工学人材育成事業にご賛同くださる企業様よりご支援を賜り、
情報理工学院サポーターズ企業として本学院と連携し
高度情報理工学人材育成に携わっていただく制度です。

学院長挨拶

東京工業大学情報理工学院長・教授 横田治夫

数多の産業において情報技術が欠くことのできない基盤となり、高度な情報技術を身に付けた人材が求められる中、情報理工学の素養を活かして社会的課題解決や新産業創出に貢献できる人材を育成することを目的に、東京工業大学情報理工学院は「高度情報理工学人材育成事業」立ち上げました。

様々な業種の企業と情報理工学院が密に連携して、種々のプログラムを企画、運営していくことにより、高度な情報技術を有した実社会のリーダーとなる人材の養成を目指します。
例えば、現実の社会的課題の解決を対象とする授業、多様なインターンシップ、キャリアフォーラムといった教育プログラムを通して、情報理工学院の教員・学生と企業の研究担当者、事業担当者をつなぎ、人材育成を行っていきたいと考えています。
ご賛同を頂ける企業の皆様からのご連絡をお待ちしております。

副学院長挨拶

東京工業大学情報理工学院副学院長・教授 三宅美博

人工知能やデータサイエンスなど先端情報技術（先端IT）が飛躍的に進歩したことで、その技術を活用できる産業領域が急速に広がり続けています。
そして、先端ITを研究し、使いこなせる人材の育成に向けての早急な取り組みが求められ

ています。

このような社会的背景の中で、東京工業大学情報理工学院では産業界との連携のもと、「高度情報理工学人材育成事業」をスタートさせました。そして、ご賛同いただける企業等と協力して、社会的課題解決に貢献できる先端 I T 人材の育成を強力に推進します。東工大らしい人材育成プログラムの導入によって、データサイエンスや人工知能などの先端 I T において、学生だけではなく、今後、重要性が高まってくるリカレント教育にも取り組んでまいります。

皆様のご参加とご提案をお待ちしております。

企業の皆様へ

事業は、趣旨に賛同していただいた企業の皆様からの会費*で運営されております。

教育は「継続」することが大切であるため、企業の皆様には 3 年間の継続したご協力をお願いしております。

皆様からお預かりした会費は、情報理工学院の教育環境整備および教育プログラムの充実に活用させていただきます。将来を担う人材の育成にぜひご協力ください。

* 会費：原則 300 万円/年

東京工業大学情報理工学院サポーターズ制度参加企業一覧

株式会社 IHI,旭化成株式会社,株式会社エーザイ,AGC 株式会社,京セラ株式会社,グーグル合同会社, コニカミノルタ株式会社,株式会社 SUBARU,ソニー株式会社,SOMPO ホールディングス株式会社,

第一三共株式会社,第一生命ホールディングス株式会社,株式会社大和総研,チームラボ株式会社,

東京エレクトロン株式会社,トヨタ自動車株式会社,日鉄ソリューションズ株式会社,

日本ガイシ株式会社,日本電気株式会社,日本特殊陶業株式会社,株式会社ネフロック,

野村ホールディングス株式会社,パナソニック株式会社,東日本電信電話株式会社,株式会社日立製作所,ファナック株式会社,富士通株式会社,株式会社ブリヂストン,古河電気工業株式会社,

株式会社みずほフィナンシャルグループ, 三井化学株式会社,三井住友信託銀行株式会社,

三菱重工業株式会社,三菱電機株式会社,株式会社三菱 UFJ 銀行,ヤフー株式会社,

楽天グループ株式会社,株式会社リクルート (50 音順, 全 38 社, 2021 年 5 月末現在)



活動内容



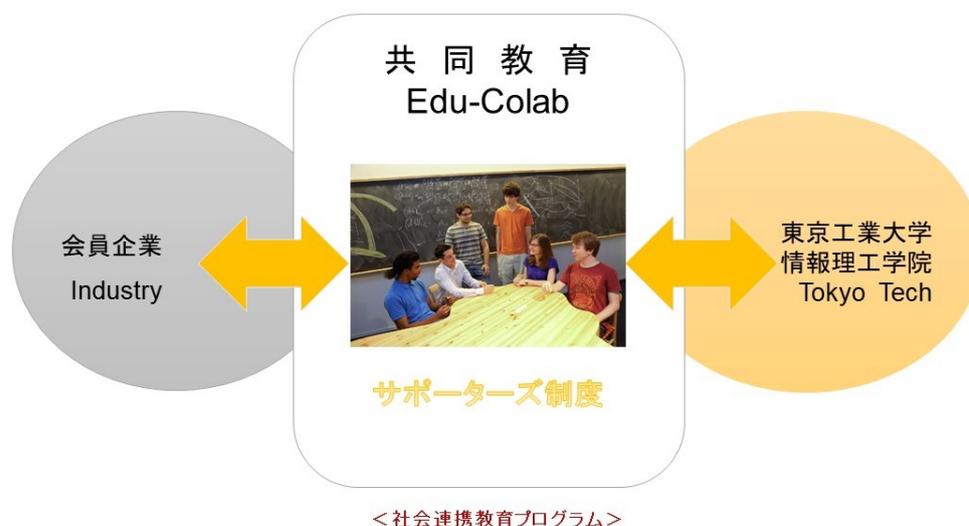
東京工業大学との共同教育に参加しませんか？

われわれは、皆様と共にイノベーションを牽引するリーダーの育成を目指します。

人工知能、データサイエンス、IoT、ユーザーインターフェイスなどの高度情報技術はあらゆる産業の基盤となり、これらを学んだ人材に対する社会ニーズは極めて高くなっています。

活躍が期待される現場もIT業界だけではなく、サービスや製造業、自治体などあらゆるセクターに広がっており、高度情報理工学人材の育成は社会的課題といえます。

そこで情報理工学院では、「情報理工学院サポーターズ制度」を設置し、本事業に賛同しご支援して下さる企業等と連携して次世代型共同教育プラットフォームの構築に取り組むことにより、社会的課題解決や新産業創出に貢献できる高度情報理工学人材の育成を推進します。



具体的な活動内容

- 1) 先端情報技術の基盤教育高度情報技術の中核となる人工知能やデータサイエンス等に関わる共通基盤教育プログラムを提供
- 2) 社会的課題解決型の教育高度情報技術の活用による社会的課題解決力やアントレプレナーシップ涵養のため、情報理工学院と会員企業が連携して授業を提供
- 3) 多様なインターンシップ情報を提供、キャリアフォーラムの開催などキャリアパス教育を展開
- 4) 体系的リカレント教育企業等における管理職や研究職の学び直しのための体系的リカレント教育

News 一覧

2020.03.05 東京工業大学情報理工学院キャリアフォーラム 2020

情報理工学院に所属する学生のキャリアパス教育の一貫として、企業で活躍されている方々と交流する「情報理工学院キャリアフォーラム 2020」を開催することになりました。学生の皆様にとっては貴重な機会になるものと思われまますので、奮ってご参加ください。事前申し込みは不要です。

日時：2020年3月13日（金） 13:30-16:45

場所：ZOOM で開催します。参加 URL <https://zoom.us/j/298192790>

主催：東京工業大学 情報理工学院（TTSC サポートーズ制度）

対象：情報理工学院所属学生（学士課程、修士課程、博士後期課程）

参加予定企業

株式会社 IHI、旭化成株式会社、AGC 株式会社、グーグル合同会社、コニカミノルタ株式会社、ソニー株式会社、SOMPO ホールディングス株式会社、第一三共株式会社、第一生命ホールディングス株式会社、株式会社大和総研、第一生命ホールディングス株式会社、チームラボ株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社ネフロック、野村ホールディングス株式会社、パナソニック株式会社、株式会社日立製作所、ファナック株式会社、富士通株式会社、株式会社みずほフィナンシャルグループ、三菱電機株式会社、株式会社三菱 UFJ 銀行、ヤフー株式会社、株式会社リクルート（50音順・全23社）

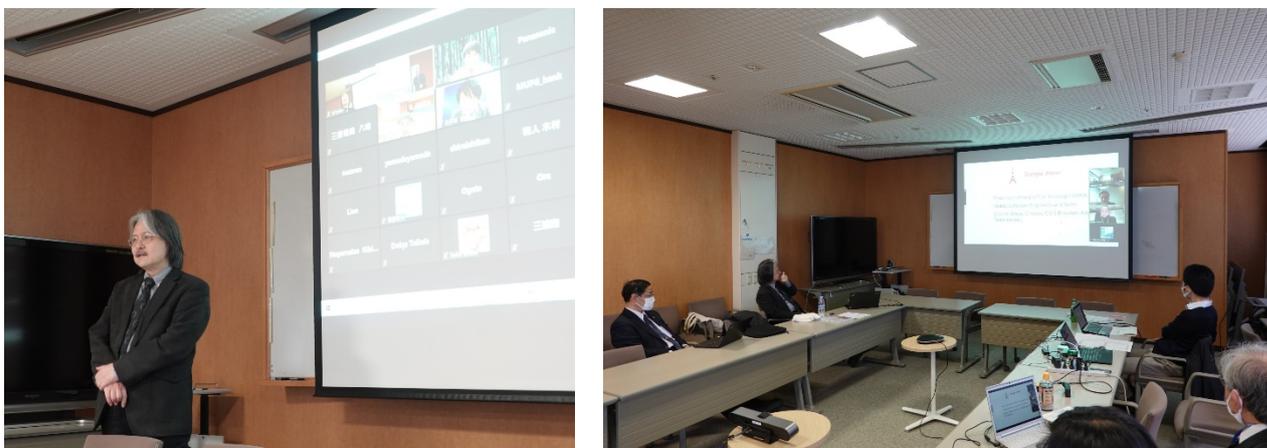
タイムスケジュール詳細（リンク）

2020.03.19 開催報告：東京工業大学情報理工学院キャリアフォーラム 2020

3月13日（金）の午後、東京工業大学情報理工学院キャリアフォーラム 2020 を開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を懸念し、急遽 Zoom を使ってオンラインで実施することになりましたが、当日は23社の企業の皆様にご参加いただきました。全体を4つのセッションに区切り、各社3分程度で紹介を行っていただき、セッションごとに Q&A を

実施いたしました。



約4時間弱に渡って開催されたこのフォーラムですが、常時100名前後の学生が視聴し、全体では200名以上の方に参加いただきました。本学院の学生にとって大変実りある機会となりました。ご協力いただきました企業の皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

2020.04.02 新年度ご挨拶



2020年度開始、桜も満開です。

昨年度は情報理工学院サポーターズ会員企業様との共同授業が開設され、学生にとって貴重な学びの場となりました。どうもありがとうございました。本年度も引き続き、社会的課題解決や新産業創出に貢献できる高度情報理工学人材の育成に努めます。

本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

2020.05.28 2020年度活動

2020年度活動： 本年度より情報理工学院の枠を超え、全学院生履修可能な、「データサイ

エンス・AI 特別専門学修プログラム」を開設します。ご期待ください。

これに先駆け 2019 年度秋にはデータサイエンス・AI のトライアル授業を開講しました。その様子は東京工業大学の HP 内 <データサイエンス・AI 教育を全ての大学院生向けに開始>にて掲載されています。

2020.07.27 開催報告：2020 年度活動インターンシップガイダンス

情報理工学院サポーターズ制度参加企業様にも多数ご参加いただいております

「情報理工インターンシップガイダンス 2020」が先週 7 月 22 日（水）に行われました。このガイダンスには、情報理工学院インターンシップ科目を履修する、主に修士課程の学生が参加して、

インターンシップの応募に向けて、参加企業とのマッチングを図ります。

昨今の状況により、例年より 2 か月遅れとなり、初のオンライン開催となりましたが、おかげさまで総勢 100 名近い学生が参加いたしました。

ガイダンスでは、企業の皆様の全体説明の後、

個別セッションにおいて、各企業のインターンシップについて具体的な説明を受け、活発な質問が飛び交うなど、学生は個別のコミュニケーションの場で多くの情報を得て、インターンシップへ臨む準備を始めています。

今後、学生たちが個別にインターンシップでお世話になってまいります、どうぞよろしく願いいたします。

2021.01.04 新年のご挨拶

謹んで新年のお喜びを申し上げます

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、オンライン講義となりましたが、2019 年度に引き続き 2020 年度秋にも情報理工学院と会員企業が連携し応用講義を提供いたしました。現在、2021 年 2 月実践講義開講の準備が進んでおります。

本年も東京工業大学情報理工学院サポーターズ制度(高度情報理工学人材育成事業)はより一層の人材育成に励んでまいります。引き続きご支援ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

2021.03.19 開催報告 東京工業大学情報理工学院キャリアフォーラム 2021

情報理工学院に所属する学生のキャリアパス教育の一貫として、企業で活躍されている方々と交流する「情報理工学院キャリアフォーラム 2021」を開催いたしました。

当日は 27 社の企業の皆様にご参加いただきました。全体を 4 つのセッションに区切り、各社 3 分程度で紹介を行っていただき、各セッション終了ごとに企業個別相談を実施いたしました。本学院の学生にとって大変実りある機会となりました。多くの zoom 開催イベントがあるなか、当イベントにご参加いただきありがとうございます。ご協力いただきました

企業の皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

日時：2021年3月12日（金） 10:30-16:00

場所：ZOOMで開催します。

主催：東京工業大学 情報理工学院（TTSC サポートーズ制度）

対象：情報理工学院所属学生（学士課程、修士課程、博士後期課程）

参加企業

旭化成株式会社、AGC 株式会社、エーザイ株式会社、京セラ株式会社、グーグル合同会社、株式会社 SUBARU、SOMPO ホールディングス株式会社、第一生命ホールディングス株式会社、株式会社大和総研、チームラボ株式会社、東京エレクトロン株式会社、日鉄ソリューションズ株式会社、日本ガイシ株式会社、日本特殊陶業株式会社、株式会社ネフロック、野村ホールディングス株式会社、東日本電信電話株式会社、ファナック株式会社、富士通株式会社、株式会社ブリヂストン、古河電気工業株式会社、株式会社みずほフィナンシャルグループ、三井化学株式会社、三井住友信託銀行株式会社、ヤフー株式会社、楽天株式会社（50音順・全27社）

2021.05.26 2021 年度活動

今年度新たに本事業にご賛同いただいた企業様も加わり、昨年度2月のみの開講だった「実践 AI・データサイエンス」講義は第1クォーター（5月）から開講にかわり、かつ、第2、第3Qでも開講されます。おかげさまでより充実したプログラムへと進化を続けています。